

いのちの輝

龍の瞳発行
月刊通信

5

No.6 0
2021

2020年産
好評販売中

公式通販：ご注文・お問合せ
TEL 0576-54-1801
FAX 0576-54-1836



最新情報はこちら
rurunohitomi.shop

小坂町は「日本一滝の多い町」として有名で、清流・大洞川が古くから人々の生活を支えてきました。あまごといわなの養殖には、その大洞川の水が豊富に使われ、生簀の魚は川を泳ぐかのように俊敏に動きます。



清らかな水を湛える大洞川

今回、企画の第一弾としてご紹介するのは岐阜県下呂市の小坂町（おさかちょう）にある小坂町淡水魚養殖漁業協同組合で造られる「あまご・いわなの甘露煮」です。

お客様にはお米の「ついで買い」に飛驒の美味しいものを食べていただき、地域経済に微力ながら寄与したいと思います。地元だけで消費されている美味しいものや、よりたくさんの方に知ってもらいたい商品など弊社独自の視点で選んだ逸品を、折に触れてご紹介していく予定です。

地元、岐阜県下呂市や近郊で作られる美味しい食材などを、弊社オンラインショップで販売する「地場産品販売企画 龍の瞳・逸品セレクトション」がスタートしました。



地場産品販売企画 龍の瞳逸品セレクトション

「水がきれいだから魚もきれいなんですよ」と組合長の鈴山忠男さん。ご紹介する魚は臭みがなく締まった身が特徴的で、透き通るような美しい模様はまさに清流の宝石のようです。

「あまご・いわなの甘露煮」は飛驒地方の「ハレの日」には欠かせない郷土料理です。継ぎ足しのタレを使い、6時間かけて丁寧に炊いた甘辛い素朴な味付けはご飯のお供にも、酒の肴にも相性抜群。川魚が初めてのお客様にも、きつと喜んでいただける一品です。今後の「龍の瞳・逸品セレクトション」をご期待ください。



赤い斑点が美しいあまご(天魚)

あまご
甘露煮



【龍の瞳・逸品セレクトション第1弾】
あまご甘露煮・いわなの甘露煮／3匹入り各780円（税込み）
※期間限定でオンラインショップで販売中。

ぜひご登録ください！

限定商品、お買い得情報などは
龍の瞳メールニュースでいち早く入手できます。
メール会員への登録をお願いします！

— 価格 —
・2kg/1,200円

※価格は税込み



ご購入はこちら↑

※玄米のみのお届けです。
※割れやすいため、自家精米せず玄米のままお召し上がりください。

この基準をわずかに満たさず「龍の瞳」としては販売できないものの、十分に美味しく召し上がっていただける「いのちの壺」を特別価格にて玄米で発売中です！
プチプチの食感と玄米独特の風味をお得に楽しんでいただけます。この機会に「いのちの壺」の玄米をお試しください。

「龍の瞳」は、「いのちの壺」という品種の原料玄米を用いて、これに独自の厳しい基準を設けて商品化したものです。

お得に美味しい カラダにうれしい



カラダに
うれしい

「玄米炊き」専用
いのちの壺

第四十四回 『龍の瞳』ストーリー

強み、弱みの分析

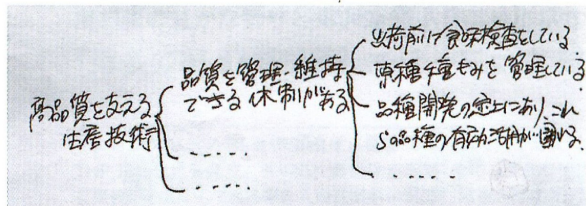
……ひと、もの、ことに収斂……



先日、弊社企画担当社員の提案により、SWOT分析を行った。同分析は、内部環境の強み (Strength)、弱み (Weakness)、外部環境の機会 (Opportunity)、脅威 (Threat) をカードに書いて整理し系統化しながら明らかにして強みをもっと押し出し、弱みを改善する方策を考え、商機を得るとともに脅威を無くすことに繋がる。

具体的には、会社の事業に対して、「目標達成のためにはどのような強みを生かすか?」、以下、「目標達成のためには」という枕詞が付くのであるが、「どのように自分の弱みを克服するか?」、「どのように市場や顧客獲得の機会を活用するか?」、「どのように脅威を取り除くのか?」という議論を進めていく。

今回は、強み、弱みを社員全員が記載したものをカードに一項目ずつ整理し、それを全社員で討議しながらグループに分類した。まずは、「強み」である。社員が書いた強みのカードは80枚。



例えば、強みとして「出荷前に食味検査をしている」、「原種種籾を管理している」、「品種開発の途上にある」、これらの品種の有効活用が図れる「などは「品質を管理・維持できる体制がある」という括りに纏められる (左写真)。

強みは競合他社にはない、弊社の「強み」なので、これをもっと伸ばすにはどうしたら良いのかという議論に繋げなければいけない。

せっかく「出荷前に食味検査をしている」にも関わらず、消費者にそれを伝えてなければ、効果は半減する。改めて強みを意識することで、アピールするにはどうしたら良いのか、考えることに。改善点は、常に現場に答えがあるものの、こうして文字と

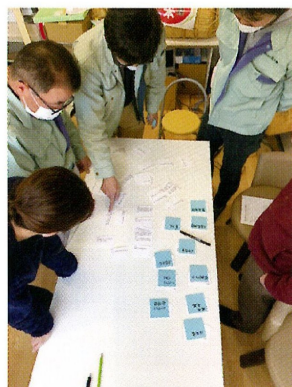
して意識することで、不思議とはつきり浮かびあがってくる。これを担当者、ないし私だけの意識ではなく、共通意識とし該当する者が関わっていくことで知恵が生まれ、ことが進みやすくなる。

弊社で行ったことは、次の通りである。社内ですばる強みと弱みを記載して担当者にメールで送付↓担当者には一項目ずつカードに転記↓一堂に会して似た項目を集めていく (5種類以上集まったら再度、グループ化する) ↓集まったグループに共通する項目の名称を付ける↓小グループを3種類ぐらいの大きなグループにまとめ、名称を付ける。

「強み」については、大きく4つのグループになった。

- ①米そのものの、いのちの恵の価値
- ②ブランドとして浸透している
- ③高品質を支える生産技術 (上写真)
- ④顧客満足を作る販売力・販売体制がある。

これを大きく一つにまとめるとどうなるのか。①は「もの」、②と④は「こと」、③は「ひと」、と大分類



SWOT 分析の作業風景

される。ただし、④は「ひと」にも関わり合いが。経営資源の「人、物、金」とつながるところも興味深い。私はこの作業を「はい終わり」で片づけることが出来ないのは当然である。おそらく、担当者は自宅仕事をしていたと思われる節があり、その熱意に、ただ頭が下がるばかり。コロナ禍で私が社内にいることが多く、目配りが出来たこと、ボナスを公務員並みに支払っていることなどで、社員のやる気度が上がっている。売り上げアップ、利益の確保を図るとともに、工夫する社風になりつつあると感じる。社員が可愛く、しかも頼もしく見えてきた。過日、「やる気・工夫アップ、スキルアップ、待遇アップで行きます」と、宣言した。

Profile

今井 隆

1955年、岐阜県下呂市萩原町に生まれる。農林水産省に勤務。30歳頃から詩、小説、ルポなどを書き始める。短編で岐阜市文芸祭賞受賞。夢は作家になること。2000年に水稻品種「龍の瞳」を発見して育成。「龍の瞳」は数々のコンクールで金賞、「日本一」などになり、最高級米としてブランド化されている。



〒509-2512 岐阜県下呂市萩原町ケ洞1068
TEL 0576-54-1801
FAX 0576-54-1836
https://ryunohitomi.co.jp



この文章は月刊たる 2021年5月号に掲載されたものです。許可を得て転載しています。